

## 短期大学 1 年

科 目 名		担 当 者 氏 名	授業形式	単 位	開講時期
人間と社会Ⅰ		専任教員	テュートリアル	1	通年
必修・選択		卒業要件		必修	
学習目標	目的意識を持った職業人として社会に貢献できる人になるために、本学の教育方針を遵守した学生生活を送り、いかなる状況においても現状を適切に分析し、問題点を的確に捉えて問題解決を図る能力を身につける。				
授 業 計 画					
回	項 目		授 業 内 容		
1	課題（１） 「本学の建学精神に関連した 一般教養問題」		テュートリアル教育の形式をとる。 その理念は、自己学習を重んじ、その成果をスモールグループで発表し、討論することである。すなわち、与えられた課題について調査研究して洞察力、発表力を培い、さらにクラスの中での良きコミュニケーションを形成するよう努める。		
2					
3					
4					
5	課題（２） 「本学の教育方針に関連した 一般教養問題」		学習の流れ 少人数グループをつくり、三役（司会、記録、発表者）を決める。		
6					
7					
8					
9	課題（３） 「社会性のあるテーマ」		（一般教養的問題、社会性のあるテーマを取りあげる。） 年度当初は本学の建学精神や教育方針を取りあげる。		
10					
11					
12					
13	課題（４） 「社会性のあるテーマ」		（１）課題提示 （２）提示されたオープニングシーンから、問題点を指摘 （３）問題点を分析し、解決するためにグループ内で各自の分担する部分決め、自己学習する。 （４）グループ内で各自まとめた内容を発表し合い、討議する。 （５）各グループの討議結果をまとめ、クラス内に発表・討議する。 （６）クラス討議を基に学習した事柄を課題ごとに各自ノートにまとめ、提出する。 （７）半期ごとにレポートを提出する。		
14					
15					
16					
参 考 書		課題に応じて紹介する。			
学習上の注意（自己学習、学外学習など）		自己学習が基盤である。ノートに分担した内容について他者に発表できるようにまとめて参加すること。また、各課題、討議後は自分の意見等をまとめておくこと。			
評価の方法と時期		（１）自己学習の成果および討議中の態度など、発表能力などの観察記録による。 （２）レポート。			